

かすや 議会だより

No. 177

2025 年
8 月 4 日発行

夏号

挑戦

議員・委員会紹介 P2～P9 議会ピックアップ P10～P12



福岡県粕屋町議会



粕屋町議会ホームページ

新たな議会がスタートします



柏屋町議会 第18代議長

すえ わか けん じ
末若 憲治

当選回数 3 回 党派:無所属

就任のごあいさつ

この度、柏屋町議会議長という重責を拝命し、その責務の大きさに身の引き締まる思いです。歴代議長が築いた信頼と実績を礎に、皆さまの負託に応えるべく、全身全霊で議会運営に当たってまいります。

今、町は過渡期を迎えていると言っても過言ではありません。人口の伸び悩み、地域コミュニティの変容、複雑化する行政課題——この時代の波に、議会は果敢に挑み、町の未来を見据えた舵取りを担わねばなりません。

私の使命は明確です。「共創社会の実現」「改革への決断」「未来への責任」を柱に、議会を真に開かれた場へと導き、皆さまの声を、政策と行動へつなげることです。

議会は変われます。変わらねばなりません。ふるさと・柏屋町が、これからも希望と誇りに満ちたまちであるため、誠実に、情熱を持って歩み続ける覚悟です。

これからも柏屋町議会へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

各所属一覧

福岡県町村議会議長会
福岡都市圏議長会
糟屋地区議長協議会(会長)
福岡県後期高齢者医療広域連合議会
粕屋南部消防組合議会
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会
福岡地区水道企業団議会
糟屋郡自治会館組合議会
糟屋郡5町ブロック廃棄物対策協議会
国鉄志免炭鉱ばた山開発推進協議会
土地開発公社
青少年問題協議会
多々良川水系改修事業促進協議会
多々良川流域下水道促進協議会
粕屋南部消防組合粕屋中南部休日診療所管理委員会
糟屋地区社会教育振興会
粕屋地区防犯協会

議長は委員会には所属しておりませんが、オズバーとして、基本的に各委員会に出席します。
他にも…

覚悟を持って挑みます

議席番号12番

ほん だ よし え
本田 芳枝



当選回数 6 回
党派：無所属

総務建設常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
監査委員



人も街並みもいきいきと輝くまちづくりに貢献したい。AIオンデマンドバスの普及で交通弱者をなくす、フレイル予防を中心にした高齢者福祉の向上、不登校問題、学童保育の拡充など、これまでの20年間の蓄積を活かし活動します。

議席番号14番

やま わき ひで たか
山脇 秀隆



当選回数 7 回
党派：公明党

総務建設常任委員会
議会広報常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会



7期目となる今期は、芸術文化振興のきっかけづくり(街角ピアノ)と高齢社会の生きづらさを解消する仕組みづくり(気軽に働ける場)を考え、農業の働き手づくり(ブロッコリーのブランド化)に挑戦していきたい。

議席番号15番

あん どう かず ひさ
安藤 和寿



当選回数 4 回
党派：無所属

副議長
総務建設常任委員会
議会広報常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
議会運営委員会
北筑昇華苑組合議会
国鉄志免炭鉱ぼた山開発推進協議会
土地開発公社
青少年問題協議会



正義を軸に冷静に判断すること。

将来の町を見通し、未来像・手順・経営資源を効率的に活用したイノベーションを構築しながら新しい価値を創造して政策提案を責務としてまいります。

『共創社会の実現』

議席番号8番

ふく なが よし ゆき
福永 善之



当選回数 5 回
党派:無所属

文教厚生常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会



- 4年間の抱負
長いものに巻かれず、主義・主張を貫き通す所存
- 町民へ挨拶
日本社会に尊厳死・安楽死が合法化となるよう政治活動していく所存
- 意気込み
今の政治は、あれも・これもの世界観だが、私はやらない勇気が必要だと考える

議席番号11番

こ いけ ひろ もと
小池 弘基



当選回数 5 回
党派:無所属

総務建設常任委員会
議会広報常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会



- 4期16年の実績を基に、地域のさらなる発展を目指して政策実現のために頑張っています。
- JR原町駅にエレベーターの早期設置
 - 歩道の整備など安全対策の充実
 - 九州大学原町農場の早期開発の促進

議席番号10番

た がわ まさ はる
田川 正治



当選回数 5 回
党派:日本共産党

文教厚生常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
土地開発公社
社会福祉協議会



「子育て支援・老後も安心の町づくり、住んでよかった・これからも住み続けたい町」を目指し、「18歳まで医療費の完全無料化」「保育料の3歳未満無償化」「学校給食の無償化」「国民健康保険税の均等割無料化」などを実現します。

議長紹介

議員紹介

議員紹介

委員会レポート

ピックアップ

ピックアップ・審議結果

一般質問

一般質問

一般質問

『改革への決断』

議席番号13番

みやざき ひろこ
宮崎 広子



当選回数 2 回
党派: 公明党

文教厚生常任委員会委員長
議会運営委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
土地開発公社
民生委員推薦会



小学校や特別支援学校に勤務した経験を生かし町のために役立てたい。子どもたちの居場所づくりや認知症の早期発見事業、不登校支援の先にある引きこもり支援など、だれもが安心して過ごせるまちづくりを目指します。

議席番号 7 番

あんのうら かね とし
案浦 兼敏



当選回数 3 回
党派: 無所属

総務建設常任委員会
議会運営委員会副委員長
粕屋町総合計画策定特別委員会委員長
土地開発公社
都市計画審議会



- 4 年間の抱負
市制への道筋が見えてくるよう、都市計画の見直しや開発問題について、提案していきたい。水鳥橋の早期復旧が実現できるよう、引き続き提案していきたい。
- 町民の皆様へ
地域の課題や解決策を、議会と一緒に考えてみませんか。

議席番号 9 番

かわぐち あきら
川口 晃



当選回数 4 回
党派: 日本共産党

総務建設常任委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
都市計画審議会
住宅新築資金等貸付審議会



かつて青年団活動をしていました。全国の青年との交流や研修、日本青年団協議会の派遣で国連の核兵器廃絶の集会にも参加しました。こうした活動が議員活動の根源です。一貫した気持ちは平和や地域の人達の生活向上に尽くすことです。

『未来への責任』

議席番号4番

ふる いえ まさ かず
古家 昌和



当選回数 2 回
党派:無所属

文教厚生常任委員会
議会広報常任委員会委員長
粕屋町総合計画策定特別委員会副委員長
住宅新築資金等貸付審議会



子どもたちの笑顔と成長を、多様な人が支え合う地域の仕組みづくりを大切に、誰もが安心して暮らせる環境を整えていきます。住民と行政が共に歩み、共創の力で未来につながる温かいまちを育てていきます。

議席番号5番

た しろ さだむ
田代 勘



当選回数 2 回
党派:無所属

総務建設常任委員会委員長
議会運営委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
粕屋南部消防組合議会
須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会
篠栗町外一市五町財産組合議会
国鉄志免炭鉱ばた山開発推進協議会
糟屋郡5町ブロック廃棄物対策協議会
土地開発公社
都市計画審議会



郷土への愛着と熱意を持ち続け、皆さんの声をしっかりと受け止め、町の未来へと繋げていくことが私の使命であり、議員としての原点と感じております。

利他の心をもって、粕屋のまちづくりを進めてまいります。

議席番号6番

すぎ の きみ ひこ
杉野 公彦



当選回数 2 回
党派:無所属

文教厚生常任委員会
議会広報常任委員会
議会運営委員会委員長
粕屋町総合計画策定特別委員会



シニア世代には、就労マッチングの実施やスポーツ・文化活動へのサポートを、子育て世代には公民館を活用した学童保育の実現と学校給食の無償化を目指します。

皆さん、一緒に対話によるまちづくりを進めましょう！

議長紹介

議員紹介

議員紹介

委員会レポート

ピックアップ

ピックアップ・審議結果

一般質問

一般質問

一般質問

NEW FACE

議席番号 1 番

ほりもと たか よし
堀本 高良



当選回数 1 回
党派:無所属

文教厚生常任委員会副委員長
議会広報常任委員会
議会運営委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
青少年問題協議会



粕屋町を『住みたい、住み続けたい町』と胸を張って言えるように町民の安全・安心を守り、町全体の福祉・教育の向上を目指します！また、若い世代から高齢者まで町政に興味を持ってもらえるように努めてまいります。

議席番号 2 番

む た ぐ ち なお き
牟田口 直輝



当選回数 1 回
党派:日本維新の会

総務建設常任委員会副委員長
議会広報常任委員会
議会運営委員会
粕屋町総合計画策定特別委員会
国鉄志免炭鉱ばた山開発推進協議会
都市計画審議会



『粕屋町をより良いまちに』をモットーに、子育て世代から高齢者、そして未来ある子どもたちのために、安全安心のまちづくりに努めてまいります。新人議員として新たな視点で、フレッシュな風をおこしたいと思います。

議席番号 3 番

かわ さ き なお こ
川崎 尚子



当選回数 1 回
党派:無所属

文教厚生常任委員会
議会広報常任委員会副委員長
粕屋町総合計画策定特別委員会
民生委員推薦会



子育ても大安心、楽な気持ちで過ごせる町に！
全世代誰もが、きずなでつながる元気で明るく過ごせる町に！
もっともっと粕屋町を大好きな町に！
町に想うことを皆さまの想いと合わせてひとつひとつかなえていきます。



総務建設常任委員会

構成委員名

委員長 田代 勘 **副委員長** 牟田口 直輝
委員 山脇 秀隆 本田 芳枝 小池 弘基
 川口 晃 案浦 兼敏 安藤 和寿

委員会の担当

- ・まちの行財政の運営やまちづくりに関すること
- ・防災、防犯や交通安全などの、安全安心なまちづくりに関すること
- ・農林業や商工業などの、まちの産業に関すること
- ・開発や公共交通、公園や緑化などの、都市整備に関すること
- ・上下水道、ゴミや道路整備などの、生活インフラ（環境）に関すること など

委員会の抱負

議案の審議、政策の立案、行政機関の監視、予算決算の審議など、多くの責任を担っています。ロードマップを作成し、政策提言・条例発案の実現を目指していきます。

文教厚生常任委員会

構成委員名

委員長 宮崎 広子 **副委員長** 堀本 高良
委員 田川 正治 福永 善之 杉野 公彦
 古家 昌和 川崎 尚子



委員会の担当

- ・子ども子育てに関すること
- ・学校の施設整備や教育に関すること
- ・高齢者・障がい者の福祉に関すること
- ・町民の健康に関すること
- ・国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険に関すること など

委員会の抱負

町民の声（広聴）を重視し、町民のための福祉・教育の向上を目指します。そのために調査・研究を行い、政策立案や審査機関として、慎重に審査いたします。

議会広報常任委員会

構成委員名

- 委員長 古家 昌和 副委員長 川崎 尚子
委員 山脇 秀隆 小池 弘基 安藤 和寿
杉野 公彦 牟田口 直輝 堀本 高良



委員会の担当

議会の動きや未来への取り組みをわかりやすく伝え、住民の声が届く場づくり(意見交換会や議会モニター制度など)にも取り組んでいます。住民の皆さまと議会をつなぐ「かけ橋」として、活動しています。

委員会の抱負

議会だけで動く時代は、もう終わり。これからは、住民と共につくる議会へ。
広報は、その第一歩。議会だよりやSNS、意見交換会を通じて、声を聴き、声を届け、皆さまと議会をつないでいきます。議会モニター制度も始まり、共に考え、共に動くための土台が整いました。
住民と共に変わる。広報から始まる「共創の議会」が、いま動き出します。



議会運営委員会

構成委員名

- 委員長 杉野 公彦 副委員長 案浦 兼敏
委員 安藤 和寿 宮崎 広子 田代 勘
牟田口 直輝 堀本 高良

委員会の担当

議会の運営方法、日程の決定、議会内の規則の策定や改正を行います。
また、議長から出された諮問(相談)に委員会として答申(意見)を提出します。

委員会の抱負

議長をサポートし、議会が効率的、効果的に運営できるように努めます。
また、町民の皆さまに開かれた議会となるよう、さらなる議会改革に取り組めます。

総合計画策定特別委員会

構成委員名

- 委員長 案浦 兼敏 副委員長 古家 昌和 委員 議長を除く全議員で構成

委員会の担当

町では、令和8年度から10年間のまちづくりの指針となる「第6次粕屋町総合計画」の策定が、昨年度から進められており、未来に向けたあるべき姿や進むべき方向性の指針となる「基本構想」については本年6月の議会でも可決承認しました。

これからは基本構想で定めた「将来像」の実現に必要な政策や施策を分野別に体系化した「基本計画」について、議会の意見を取りまとめていきます。

委員会の抱負

この総合計画が「町民による・町民のための計画」となるよう、町民の皆さまのご意見を積極的にお聴きしていきます。

議会ピックアップ

令和7年 第2回(6月)定例会

会期は6月6日から6月16日までの11日間で開催されました。
(審議結果は12ページに記載しています。)

①令和7年度粕屋町一般会計補正予算に対する附帯決議 (全議員の賛成で決議しました。)

住民団体からの請願で、仲原小学校の学童保育の待機児童が解消されない場合は、閉園予定の仲原幼稚園を活用するように求められています。

しかし同時に、仲原保育所老朽化問題の早急な解決も必要であり、どちらも大事なことであるため、学童保育の環境改善と改修のための設計補正予算執行を同時進行で取り組むことを強く求めました。

●議案第54号一般会計補正予算 (賛成多数で可決しました。)

仲原幼稚園を小規模保育園(0~2才児)にする計画を取りやめ、閉園予定の仲原幼稚園を改修し、0~5才児までの仲原保育所とする新たな移転計画です。(今回の議案は、設計費の補正予算です。)

町



●請願第1号 仲原小学校学童保育に関する請願 (全議員の賛成で、請願を採択しました。)

住民



仲原小学校学童保育所の待機児童の解消のため1年以内に環境整備を改善してほしい。解消できなければ仲原幼稚園を利用して対応してほしい。

町内の待機児童数は?

学童保育所待機児童数(R7.5.1現在)

(人)

学童保育所名	定員数	入所児童数	待機児童数
大川小学童保育所	160	127	0
仲原小学童保育所	160	165	48
粕屋西小学童保育所	200	155	0
粕屋中央小学童保育所	160	159	8
合 計	680	606	56



②再審法改正を求める意見書（全員の賛成で可決しました。）

過去の事件の裁判によって裁かれた方が無実を後に訴えて裁判のやり直しを求める案件が多発しています。

現行法では、捜査機関の手元にある証拠を開示させる法的根拠がありません。

裁判官や検察官の対応いかんで証拠開示の範囲に大きな差が生じています。

このことが冤罪を認めるに足る証拠がなく、再審請求の足かせとなっています。

証拠開示のルールを定めた法律の制定が必要です。

冤罪被害者を一刻も早く救済するための再審法を速やかに改正されることを国に強く求めるものです。



③南里^{ぜき}堰の修繕をおこないます

●議案第57号補正予算（全員賛成で可決しました。）

2000万円を超える修繕が必要になったため補正予算が出されました。
（担当 上下水道課）

耐用年数が25年のところを、メンテナンスを行うことで長寿命化を図っています。

今回は、50年が経過したため修繕を行います。



南里堰



議会の意見

井堰管理の在り方が問われ、計画的な更新を行う必要があるのではないかと疑問視した。

一目でわかる審議結果

令和7年6月定例会に提出されたのは、議案14件、
発議1件、意見書(案)1件、請願1件、決議1件です。

議案 番号	◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています)	採決 結果	賛成 (人)	堀本 高良	牟田 直輝	川崎 尚子	古家 昌和	田代 勘	杉野 公彦	案浦 兼敏	福永 善之	川口 晃	田川 正治	小池 弘基	本田 芳枝	宮崎 広子	山脇 秀隆	安藤 和寿	末若 憲治
49	町立幼稚園設置条例の一部改正	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
54	令和7年度 一般会計補正予算(第1回)	可決	14	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
56	令和7年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	13	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席 ※議長は採決に加わりません

以下の議案は令和7年6月定例会にて全会一致で原案通り可決(同意・採択)しました

議案 番号	◎議案名	議案 番号	◎議案名
47	第6次粕屋町総合計画基本構想の策定	58	工事請負契約の締結(扇上井堰改修工事)
48	教育委員会委員の選任同意(再任)(青木 知香 氏)	59	財産の取得(オンデマンドバス)
50	町営住宅条例の一部改正	60	住居表示の実施に伴う字の区域及び名称の変更
51	附属機関設置に関する条例の一部改正	発議 第1号	議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
52	印鑑条例の一部改正	意見書 第1号	再審法改正を求める意見書(案)
53	グラウンド照明施設設置条例の一部改正	請願 第1号	仲原小学校学童保育に関する請願
55	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	決議 第2号	議案第54号 令和7年度 一般会計補正予算に対する附帯決議
57	令和7年度 水道事業会計補正予算(第1回)		

粕屋町議会
イメージ
キャラクター
「かすカモ」右のQRコードより採決の様子を
ホームページでもご覧になれます。

臨時会



定例会開会日



定例会閉会日



令和7年 第3回(5月)臨時会

令和7年5月9日に開催され、議案4件、決議1件を審査しました。

議案第45号 監査委員の選任同意について

監査委員の定数は2名で、1名は民間より選出しており今回は議員より選出
するために本田芳枝氏を監査委員に選任することの同意を求められたものです。

採決の結果、賛成多数で同意しました。

一目でわかる審議結果

令和7年5月臨時会に提出されたのは、
議案4件、決議1件です。

議案 番号	◎議案名 (わかりやすい文言に置き換えています)	採決 結果	賛成 (人)	堀本 高良	牟田 直輝	川崎 尚子	古家 昌和	田代 勘	杉野 公彦	案浦 兼敏	福永 善之	川口 晃	田川 正治	小池 弘基	本田 芳枝	宮崎 広子	山脇 秀隆	安藤 和寿	末若 憲治
44	専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部改正)	承認	14	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
45	監査委員の選任同意(本田 芳枝 氏)	同意	10	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	除	●	●	○	○

○⇒賛成 ●⇒反対 一⇒退席 欠⇒欠席 除⇒除斥 ※議長は採決に加わりません

以下の議案は令和7年5月臨時会にて全会一致で原案通り可決(承認)しました

議案 番号	◎議案名	議案 番号	◎議案名
43	専決処分の承認(税条例の一部改正)	決議 第1号	総合計画策定特別委員会設置に関する決議
46	機構の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例		

町政を問う 一般質問

令和7年6月
9日～10日実施

一般質問は定例会で行われ、粕屋町では会期の始めに行っています。
議員は町政全般にわたって、町長など執行機関の考えを問います。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間60分の範囲で1問1答※で行います。

※質問、答弁を理解するまで
繰り返す方法

記事は会議録に基づき、議員個々の原稿を議員責任の下に掲載しております。
また、写真なども議員提出によるものを掲載しています。
詳細は会議録【ホームページに掲載】をご参照ください。

掲載は
質問順と
しています。

P13 田川 正治 議員

①こども誰でも通園制度の概要は

P14 古家 昌和 議員

①初の総合防災訓練、参加者の反応は

P14 川崎 尚子 議員

①子どもの育成事業の今後は
②学童保育拡充への取り組みは

P15 福永 善之 議員

①選挙ポスターの限度額は適正か

P15 宮崎 広子 議員

①産後ドゥーラを取り入れては

P16 安藤 和寿 議員

①アウトバウンドにおける町の役割は

P16 川口 晃 議員

①仲原川の浚渫計画の具体化は
②不登校児の保護者の特別休暇は

P17 案浦 兼敏 議員

①大幅な組織機構改革を行った理由は
②社会人経験者など多様な人材の確保を

P17 堀本 高良 議員

①町は英語教育をどう促進するのか

P18 山脇 秀隆 議員

①機構改革の人的・物的配置は

P18 本田 芳枝 議員

①原町・長者原駅前のまちづくりは

子ども未来課長

人員配置は、乳児3人に1人以上、満1歳以上3歳未満の幼児は6人に1人以上、うち半数以上は保育士とされている。利用時間は1人月10時間を上限、

田川

保育士の人員の配置基準、利用時間、利用料金などの設定について、町の対応は。

子ども未来課長

実施事業所は、保育所、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、幼稚園、企業主導型保育施設、認可外保育施設などで、今後町で参酌して基準を定めて認可する。

田川

こども誰でも通園制度の受け入れ施設、事業参入の申請基準や認可について問う。

子ども未来課長

現時点で概要が示され来年度実施

こども誰でも通園制度の概要は

子ども未来課長

認可保育所は既に一時預かりを行っており大きく変わらない。町立はニーズを確認して、認可保育所開始後に考えたい。

田川

認可保育所は保育士が確保されて運営することになるが、町立保育所の体制は。

子ども未来課長

対象児が3歳以降に保育の必要等が出てきた場合、これまでどおり必要な申し込みをしていたが、保護者等の希望により、幼稚園や保育所、認定こども園などを案内する。

田川

新規参入事業者は、3歳以上を受け入れる連携施設に責任をもち、事業を開始することになるのか。

子ども未来課長

利用料金は1人300円/時程度を標準とし、各事業所で設定した額を保護者負担とすることができるとされている。利用時間等、町独自の上乗せについては、ニーズや財政負担など考慮し慎重に検討したい。



たがわ まさはる
田川 正治 議員

動画はコチラから





ふる い え
古家 昌和
議員

動画はコチラから



初の総合防災訓練、 参加者の反応は

地域共創課長

92%が参加して
良かったと回答

古家 ネット上では民間も含め、町内
94施設にAED設置とあるが、う
ち町が管理するAEDの数は。

地域共創課長 45の指定緊急避難所、指定避
難所、福祉避難所のうち、31施設
に設置。

教育部長 小・中学校に各2台、社会教育
施設には持ち出し用も含め7台。

住民福祉部長 住民福祉部所管で12施設に各
1台。

古家 古賀市では平成29年にAED
管理規程が策定されたが、本町に
おける規程の有無を確認する。

町長 規程はない。

古家 管理規程を策定し、適正な管
理に努めるべきと考えるが。

町長 すぐに対応し、チェック体
制を含め完備したい。

古家 AEDの備品に三角巾は含ま
れているか。

教習部長 含まれていないと認識。

古家 女性傷病者へのプライバシー
配慮や、止血などにも使える
三角巾を備品に加えるべきでは。

教育部長 今後検討したい。

古家 防災力を高める活動が期待さ
れる防災士。この資格取得に対
し、補助金制度を導入しては。

町長 必要不可欠と思う。今後の検
討課題にしたい。



かすやドームのAED

その他の
質問 ●薬物乱用防止教育の啓発について



かわ さ き
川崎 尚子
議員

動画はコチラから



子どもの育成事業の 今後は

社会教育課長

地域学校協働活動に
取り組む

川崎 町には子ども育成のための社
会教育団体が数々あり、役員の
なり手不足で解散、縮小を余儀
なくされている。町は人員確保
に努めてきたか。

役場、かすやドーム、サンレイ
クかすやに人員募集のチラシの
貼り出しを許可している。

また、町のホームページや広
報誌に、ジュニアスポーツ団体や
文化協会の団体紹介、活動PR
や人員募集ができるページを設
け、会員募集を周知している。

川崎 今年3月末で解散した子ども
会育成会連絡協議会に関わる別
事業は検討しているか。

社会教育課長 今年度、地域学校協働活動
推進員の配置を予定しており、
地域総がかりで地域の子ども達
を育てる活動に取り組んでいく。

学童保育拡充への 取り組みは

教育部長

引き続き対策を
検討していく

川崎 仲原小学校区の学童保育拡充
ニーズが大変強くなっている。
拡充について町の考えは。

教育部長 周辺の民間施設利用等も視野
に入れ、待機を早期解消できる
対策を検討している。

川崎 全国各所、他県の取り組みを、
活用する手段もあるが検討して
いるのか。

教育部長 県内自治体の事例などを参考
にしながら、検討していく。



ふくなが よしゆき
福永 善之 議員

動画はコチラから



選挙ポスターの 限度額は適正か

総務課長(選挙管理委員会書記長)

条例に定めてあり、
適正だ

4月の議会議員選挙は、無投票となった。町内に選挙ポスター設置場所は、48力所ある。設置数と設置場所は適正か。

町には6つの投票区があり、それぞれの投票区の選挙人名簿登録者数と投票区の面積に応じた数の合計が48だ。

駅・公園・道路沿いなど、選挙人の目につきやすい場所に設置した。

ポスターの公費負担制度は、1枚当たり限度額が約7,129円。公費負担は、ポスター設置数の48力所まで認められているが適正か。

総務課長

議会議員選挙における選挙運動の公費負担に関する条例11条に定められており、上限額は適正だ。

福永

1枚当たり限度額7,130円が適正か。

総務課長

条例で定めてあり金額は適正だ。今回の選挙の実績として、1枚当たり1,000円の方から、同7,130円の方がいる。

福永

無投票になり選挙公報の発行は中止された。公報は、有権者が立候補者を知るツールの一つ。全戸配布される印刷物が削減され税金を節約したメリットがある一方で、無投票当選した議員が4年間、どのような議員活動するのか、有権者が監視できないデメリットがあるが選管の考えは。

総務課長

候補者の詳細や政策の情報が得られず、町民に対する情報不足、また、選挙に対する関心が低下し、政治参加意欲が減少する恐れを懸念しているが、現行法上発行できない。



みやざき ひろこ
宮崎 広子 議員

動画はコチラから



産後ドゥーラを 取り入れては

こども家庭センター課長

内容を把握したうえで
検討する

令和7年度子ども子育て支援事業計画に要支援家庭の増加と不適切な養育状態の家庭が年々増加とある。現在実施している事業の実態と課題は。

乳児全戸家庭訪問事業、産後ケア事業、育児等支援サービス事業、養育支援訪問事業などがあり、産後ケア事業については、事業の拡充を図ったところ令和6年度は延べ270名が利用し、事業の登録者も急増、困難事例の受け皿としても活用されている。課題は、子育て短期支援事業で虐待等による一時保護が優先されるため、施設の空き状況により利用できない可能性があることだ。

宮崎

出産後、家に帰り、押し寄せる家事・育児につぶされそうになりながら孤立し、誰かの助けを求めている母親は少なくない。町に産後ドゥーラを取り入れる考えは。

こども家庭センター課長

令和7年度より母親に対する直接的なケアができる助産師による居宅訪問型を導入したところだ。産後ドゥーラは民間資格の1つと承知しているが、導入に際してはその位置づけや提供されるサポート内容を把握し、検討する必要がある。

※産後ドゥーラ：(社)ドゥーラ協会が認定する資格。妊娠中から産後にかけて、母親の心身のケアや育児、家事などをサポートする専門家。



あんどう かずひさ
安藤 和寿
議員

動画はコチラから



アウトバウンドに おける町の役割は

総務課長

行政の国際化が
求められている

安藤
職員グローバル人材への考
えは。

近年のグローバル化に伴い行政の国際化が求められている。職員の能力強化のため語学力や異文化の理解力、国際対応経験が不足している現状がある。職員の能力を強化するため語学・異文化理解研修の実施、海外自治体への派遣やオンラインでの職員研修、グローバル対応の専門部署の設置も考えられる。行政対応の国際化は今後避けて通れない。

安藤
将来を担う若者の人材育成の観点から、パスポートの申請料を補助する考えはないか。

町長

現在、町独自で補助をする予定はない。若者の英語教育・外国の文化に触れることを総合的に勘案しながら考える。

安藤

子ども達が将来の進路を地球規模で考えるきっかけや語学力の強化、国際的な人材育成の観点から、中学校の修学旅行を国内から海外の近隣諸国などにシフトしている他校の状況があるが、町の考えは。

教育部長

修学旅行の行先は、基本的に校長先生の裁量で行先が決まる。メリット・デメリットを慎重に検討が必要。

教育長

公立の中学校等で実現できるかと言うと厳しいと感じる。今後はさまざまな観点で考えて行く必要もある。



かわぐち あきら
川口 晃
議員

動画はコチラから



仲原川の浚渫計画の 具体化は

道路環境整備課長

「牛角仲原店」横から
上流300m

独自アンケートで1人の方は「数年前ミスターマックス前の川はきれいになりうれしかったが、最近、元の川に戻ってきている。以前のように魚や鴨を見て楽しめるようにして欲しい」と。昨年の回答では、順次浚渫していくと答弁された。計画は進んでいるか。

川口

道路環境整備課長

今年度11月より県道福岡篠栗線南側「牛角 仲原店」横から上流約300mの浚渫工事を予定している。

不登校児の保護者の 特別休暇は

総務課長

介護休暇を該当させて
町職員は取得

全国の不登校の児童・生徒数は2023年度で34万6482人。子どもが学校に行けなくなると、親が子のケアのためフルタイムからパートの仕事に移行したり、離職するケースが見られ、親の4人に1人が退職したり休職せざるを得ない。不登校の原因が疾病にあり、医師が2週間以上の自宅療養が必要と診断し、日常生活の介護が必要と認めれば、休暇の取得が可能と。担当課は承知しているか。

川口

総務課長

不登校の児童・生徒を養育される保護者の休暇には「不登校休暇」という名称の休暇制度はないが、介護休暇を該当させ、町の職員でも適用し、休暇を取得したケースはある。



案浦 兼敏
あんのうら かねとし
議員

動画はコチラから



大幅な組織機構改革を行った理由は

副町長

実効性の高い計画ができる判断

案浦
総合計画策定前、令和7年6月に組織機構改革を実施した理由は。

副町長
第6次総合計画の基本計画について、策定の段階から新組織で分野別計画を検討した方が、実効性の高い計画ができると判断したため。

案浦
今回の改革で「総合窓口課」から「住民課」へ名称変更されたことで、先駆的取組であったワンストップサービスは後退しないのか。

住民課長
町民に分かりやすいよう課名を変更した。変更後も課の業務内容は変わらないので、ワンストップでの案内は続けたい。

案浦
機構改革により課や係が増えたが、それに合わせた人員配置はなされているのか。

町長

公務員も人材不足で、思い通りに採用ができない状況にある。新たな機構に向けた人員配置ができるよう、今後努力したい。

町長

社会人経験者など
多様な人材の確保を
一歩ずつ前進させている

案浦

現状では、40代前半と50代の職員が少ない。多様な人材を確保するため、社会人経験者や公務員経験者の採用を検討しては。

総務課長

職員採用の募集年齢は、30歳までだった。令和5年度に「専門的能力を有する社会人経験者枠」を40歳まで、令和6年度に「一般事務」についても40歳まで引き上げて、多様な人材の確保に努めている。実際に即戦力として活躍する職員もいる。



堀本 高良
ほりもと たかよし
議員

動画はコチラから



町は英語教育をどう促進するのか

教育部長

一層の英語力向上の取り組みを検討

堀本
国際社会で活躍する人材育成が求められるが、町はどのような英語教育を促進していくのか。

町長
英語教育は非常に大事だ。グローバルな人材育成もだが、日本の国力を伸ばすために国際感覚を身につけ、対等に渡り合える人材育成も非常に重要だ。

教育部長

小・中学校においてネイティブの方による英語授業を行い、身に付けた英語力を試すために、英語検定受験料の助成事業等を継続していきたい。今後、より実践的な英会話の機会を増やすなど、一層の英語力向上の取り組みを検討していく。

堀本

国際コミュニケーション能力向上の観点から、町内在住の高校生以上の学生も、助成の対象としては。

教育部長

中学校段階での英語力の確実な習得というところに注力していきたい。高校生以上の検定補助拡大は考えていない。

堀本

町独自の英語教育として、未就学児から語学習得の環境整備を行うべきでは。

子ども未来課長

未就学児は個人差も大きく、環境整備を行って英語教育という形ではなく、個々の発達段階に応じて英語や異文化に触れ、興味を持つってもらうことを目指していくとともに、生きる力を育成する形で考えている。



やまわき
山脇

ひでたか
秀隆
議員

動画はコチラから



機構改革の 人的・物的配置は

総務課長

ヒアリングと
協議で検討

山脇
今回の機構改革は、町内5つの開発地区にどのように関わっているのか。

山脇
現在の17課から20課に、41係から52係に大幅に増やした。今後の人的・物的配置の計画は。

総務課長
機構改革に向けて、旧介護福祉課の執務室の増設、2階総務部の棚などを整理して、配置替えやLAN配線、電話機、机などの配置の変更とサイン工事など

を行っている。

令和7年3月に策定している粕屋町庁舎改修増築基本構想基本計画に基づき、庁舎の改修と増築を今後進めていく。

人的配置については、組織改革の成果が見えない状況なので、今後も継続してヒアリングと協議によって定員、人数など検討していきたい。

山脇
業務の集約化によるシステムをどのように考えているのか。

財政課長
通常の住民記録や、税務関係など、通常の自治体が行政運営をしていく上で使うシステムを統一していく。

山脇
機動力を高めるには、スピード感が要だ。
管理職の決裁権は。

町長
機構改革の前段で、財務会計上の決裁権の拡大として課長、そして部長、副町長の決裁額を大幅に上げている。



ほんだ
本田

よしえ
芳枝
議員

動画はコチラから



原町・長者原駅前の まちづくりは

都市政策部長

中心拠点の
基本構想策定を進める

本田
JR原町駅、長者原駅駐輪場の駐輪マナー違反が続いている。駅という町の顔に対する印象への影響は。

都市計画課長
駐輪場以外の場所に停められるのは他の利用者の支障になり、心地よい状況ではなく、町の印象としても好ましくない。

本田
改善策は。

都市計画課長
駐輪スペースに誘導させる効果的な掲示を図っていく。

本田
住民の意識がきちんと前を向いて、少しの揺るぎもない、そういった町であればこういうことはなくなるのでは。

都市計画マスタープランには、長者原駅から原町駅を含む

本田
周辺地域を中心地点に位置付け、町の顔にふさわしいまちづくりを進めるために住民・事業者・行政が一体となって取り組める協議会など体制づくりを進めるとある。

今年度予算計上の駅周辺整備方針策定委託料1500万円が道しるべになるのでは。

都市政策部長
駅等の交通拠点を中心とした集約型のまちづくりから、JR九州と包括協定を結んでいる。町の中心拠点である原町駅および長者原駅周辺の将来ビジョンを確立し、利便性向上とにぎわい創出を目指す基本構想を今年度より進め定める予定だ。



JR原町駅前のマナー違反の自転車

出前

議会意見交換会

5人以上集まれば、議会からお伺いいたします!

テーマは町政に関わることならOK! 議会とお話ししませんか?

申込
方法

電話・FAX・郵便・メールにて以下の事項を記載の上、
お申し込みください。

- ①団体名および代表者氏名 ②参加人数
- ③開催希望日時(第3希望までお知らせください。)
- ④開催希望会場(申込者において確保願います。)



お問い合わせ先: 粕屋町議会局 〒811-2392 粕屋町駕与丁一丁目1番1号
Tel:092-938-0161 Fax:092-938-7780 Mail:gikai@town.kasuya.fukuoka.jp

粕屋町議会 YouTube チャンネル



議会の様々な
情報発信中!!

粕屋町議会 YouTube

検索

チャンネル登録をよろしくお願いいたします。

編集後記

新体制での初めての議会だより。
委員長として慣れない環境に戸惑
いながらも、議会の想いや動きを少し
でも伝えられるよう心を込めて編集
しました。この広報紙がより身近に
感じていただけるよう、今後も工夫
を重ねてまいります。 まさかず

お知らせ

次回9月議会は...

9月5日(金)

9:30 開会(予定)

9月8日(月)から

9:30 一般質問(予定)



UD FONT

見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

※QRコードは(株)デンソー
ウェブの登録商標です。

発行: 粕屋町議会 編集: 議会広報常任委員会 〒811-2392 福岡県糟屋郡粕屋町駕与丁1-1-1 TEL 092-938-2311(代)

委員長: 古家昌和 / 副委員長: 川崎尚子 / 委員: 山脇秀隆・小池弘基・安藤和寿・杉野公彦・牟田口直輝・堀本高良
発行責任者: 議長 末若憲治 印刷: 久野印刷株式会社

あなたの「それ、ちょっと変じゃない？」が、町を変える。

粕屋町 議会モニター



粕屋町の未来を共にカタチ創る
パートナーを求めています

20名
募集!!

主な活動内容

- ・議会の傍聴(ネット配信 視聴可能)
 - ・各種広報への意見(議会だより・SNS)
 - ・意見交換会の参加 など
- ※無理のない範囲でOK!

対象

粕屋町に住む・通う18歳以上の方

応募締切

令和7年9月11日(木)

詳細は粕屋町議会ホームページを参照

<https://www.town.kasuya.fukuoka.jp/li/080/index.html>

※本紙 表紙のQRコードから

お問い合わせ

粕屋町議会局

TEL:092-938-0161

gikai@town.kasuya.fukuoka.jp

応募は
コチラから



皆さまのご応募をお待ちしています!